

2022 年度エキシビジョン企画部会活動報告

【部会長】

新 秀直（東京大学医学部附属病院 企画情報運営部・病院長補佐）

【2022 年度活動報告】

HOSPEX JAPAN 2022（第 51 回日本医療福祉設備学会併設展示会）医療機器安全管理セミナー企画・運営

開催日：2022 年 10 月 26 日～27 日（2 日間）

会 場：東京ビックサイト

参加者：第 1 日目 21 名、第 2 日目 23 名

第 1 日目テーマ：「医療業界におけるリスクマネジメントの実際」

趣 旨：医療業界におけるリスクマネジメントの実際と題して、プログラムを企画した。医療機器の安全管理とリスクマネジメントは深く関係しており、様々な視点からのリスクマネジメントの実際の実践について事例を交えて講演いただくプログラムとした。医療機器の安全管理に関する制度的な話を中心に、安全な医療機器の調達方法（どうすれば採用される、どうすれば自社製品を購入してもらえる？）のポイントや実際の医療機器や設備に潜むリスクについて、病院内でのリスクマネジメントや感染症機器対応策、医療材料の供給、企業としての事業継続性や SDG s（持続可能な開発目標）への取り組み、医療機器開発におけるリスクマネジメントの取り組み等、幅広く医療業界におけるリスクマネジメントについて、多様な経験を持つ 5 人の演者から講演をいただくプログラムとした。

第 2 日目テーマ：ISO コネクタ標準化への対応と SDG s、電波利用への取り組み

趣 旨：コネクタの誤接続による医療事故例が国内外で報告されており、近年ではベッドサイドで起こりうるコネクタの誤接続を防止するために、ISO コネクタ標準化は、神経麻酔や経腸栄養など、いくつかの分野で国際規格の制定が進められ、国内でも導入が進められているところである。国内外の動向も含めて制度的な話や今後の動向や実際の医療現場での切り替えの際の経過や課題、実際の医療現場で ISO コネクタの導入に関しての具体的な内容を講演いただくプログラムとした。また、最近話題となっている企業での SDG s（持続可能な開発目標）への取り組みの具体例として、再製造品に関する今後の展望や取り組み、電波やクラウド等を利用した人工呼吸器のリモートメンテナンスの実際や医療機関における EMC の問題や電波利用への取り組みについて、最新の情報を講演いただくプログラムとした。

なお、東京都臨床工学技士会 会誌（Vol.32, No2 2022.Feb P64-65）に詳細なセミナー報告が掲載されているので、そちらも併せてご参照いただきたい。